

堂の前に医王殿という額が掛られて、村人は病氣平愈を祈ったという。椀或いは目の字を書いて堂に納めると、靈験があつたといわれる。

(「長沼名義考」より)

戸神稲荷神社由来

《長沼》

戸神稲荷神社は、信濃町の北にある。祭神は、石長姫命、宇迦魂命を祀つてある。

宝暦年間、信濃町の住人、森藤十郎という刀鍛冶があつた。名刀を鍛えるため神に祈願していたが、ある夜、稲荷の神が夢に現われ、いろいろ教えた。夢の通りに、字戸上という所から土を取り、鍛冶の料としたところ、神の教えのように少しも違わず、名刀ができたという。

神恩謝礼のために、この神を勧請して戸神稲荷大明神と崇め、祀つたといわれる。この時の別当は真言宗西福寺、海心といった。神仏混交なので本地仏を正観音菩薩を入仏したという。

戸神稲荷神社

